

「カムリシロムク翔び交う里」を目指すインドネシア・バリ島西部の地元住民・行政・企業の協働による、自然と経済の共生した地域づくり

ひろげる助成

2年目

実践

カムリシロムクの放鳥 40羽

村落エコツアー・パッケージ開発 4村

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 60%



ブランピンサリ村の村落観光情報センター

活動内容と成果

国立公園職員による村人への寄り添い活動を支援。その結果、①住民主体の生息地保全・再生活動が始まり、カムリシロムクの野生下生息数が190羽を超えた ②国立公園周辺3村で住民のインドネシアタイプにより、村の資源を活かしながら自然に親しんでもらうエコツアーのパッケージが開発された ③地域の村落エコツーリズム振興について、県や村の行政と住民グループとの定期的な話し合いが始まった ④住民グループが、バリ島内で村落ツーリズムに取り組む先進事例から学び、自分たちの活動にいかし始めた



ギリマヌク村漁民によるマングローブツアー

課題

インドネシア・西部バリ国立公園周辺地域では、森林破壊や密猟を減らすため、「カムリシロムクの翔び交う里」を魅力の中心としたエコツーリズムの振興が課題となっている。

目標

西部バリ国立公園の周辺村でカムリシロムクの生息地が保全され、住民グループと行政や企業との協働によるエコツーリズムの振興を通じて住民の生計が向上する。



今後の
展望

住民によるカムリシロムク生息地保全の取組みを支援し、地域の自然や文化を生かした村落エコツーリズムの振興に向けた関係者の協働を進める。日本の徳之島や佐渡で同様の課題に取り組む人々との学びあいも開始。

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

各村でのエコツアーパッケージの開発にあたり、既存の観光資源にとらわれず、地域固有の文化や自然に目を向けてもらうこと。

■工夫した点

バリ島内や近隣の村で先駆的にエコツアーに取り組む事例の視察・交流や、隠れた「村の資源」を住民自身が見つける活動を実施。

| 活動地域 |  インドネシア

〒231-0003
神奈川県横浜市中区北仲通3-33
関内フューチャーセンター内
電話：050-3754-5970
E-mail：welcome@i-i-net.org
http://i-i-net.org/

